

氏名 (ふりがな)	山本 達朗 (やまもと たつろう)
所属・職位	保健福祉学部栄養学科・講師
最終学歴	北里大学理学部卒業
学位	博士 (医学) (神戸大学)
免許・資格	一級解剖技術士免許 (登録番号: 第 88 号)
連絡先	TEL:01654-2-4194(2307) FAX: 01654-3-3354 E-mail: tyama@nayoro.ac.jp (メールを送る際には.jpg を.jp に変更して下さい) URL: 研究室所在地: 恵陵館 3 階「解剖発生学研究室」

専門分野	神経解剖学, 神経発生学
主な担当科目	栄養学科: 解剖学, 解剖生理学実験, 生化学実験Ⅱ 看護学科: 人体形態学 教養教育: 生物学
主な研究テーマ	1. 栄養学的因子が脳神経系発生に与える影響 2. 神経奇形動物における脳構造の形態学的解析
研究キーワード	脳、形態形成、神経回路網、神経新生、脂質栄養
主な著書・論文 (最近 5 年間)	1. Nishimura N, Tanabe H, Sasaki Y, Makita Y, Ohata M, Yokoyama S, Asano M, <u>Yamamoto T</u> , and Kiriya S. Pectin and high amylose cornstarch increase caecal hydrogen production and relieve hepatic ischemia-reperfusion injury in rats. <i>British Journal of Nutrition</i> , <i>in press</i> . 2. <u>Yamamoto T</u> , Setsu T, Okuyama-Yamamoto A, Terashima T, Histological study in the brain of the <i>reelin/Dab1</i> compound mutant mouse. <i>Anat Sci Int</i> , 2009; 84(3): 200-209. 3. Nishimura N, <u>Yamamoto T</u> , Ota T, Taurine feeding inhibits bile acid absorption from the ileum in rats fed a high cholesterol and high fat diet. <i>Advances in Experimental Medicine and Biology</i> , 2009: 643:285-91.
外部獲得資金 (最近 5 年間)	1. 平成 21-22 年度科学研究費補助金, 若手研究 B (文部科学省) 神経系の成り立ちにおける胎生期脂質栄養の役割, 研究代表者 2. 平成 19-20 年度科学研究費補助金, 若手研究 B (文部科学省) 脳神経系発生を中心とした母体の脂質栄養改善に関する基礎的研究, 研究代表者
学会活動	1. 日本神経科学学会正会員 (1999 年 ~現在) 2. 日本解剖学会正会員 (2000 年~現在) 3. 日本栄養・食糧学会正会員 (2006 年~現在)
社会貢献	<講演など> 「脳の発生と発達—私たちの体と脳神経の関わりについて」、(社)北海道栄養士会名寄支部知識研修会 (2011 年 2 月, 名寄市) 「からだを支える骨のお話し」、美深町伝承遊学館「ふるさと記念日」 (2010 年 8 月, 美深町)

コメント	脳神経系の形成およびその機能と栄養学的な因子が、どのように関わっているのか研究しております。研究・教育を通じて、大学ならびに名寄市の発展に寄与できればと考えております。よろしくお願ひします。
------	---